

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	細胞内ロジスティクス：病態の理解に向けた細胞内物流システムの融合研究	
領域代表者名	吉森 保（大阪大学・微生物病研究所・教授）	
研究期間	平成 20 年度～ 24 年度	
<p><b>【科学研究費補助金審査部会における所見】</b></p> <p>本研究領域は、近年、特定領域研究を中心に進んできたメンブレントラフィック研究の優れた成果をもとにして理工系との連携を進め、「ロジスティクス」という新しい概念のもとで細胞内物質輸送研究を新しいステージに高めるものとして期待できる。各計画研究のメンバーは実績があり、計画も明確であるため、この領域の研究がますます進展することが期待される。理工系と生物系の連携については興味深い試みとなっており、Volume-CAD の導入によりメンブレントラフィックの研究に新しい局面を切りひらく可能性があるものと期待できる。さらに、この試みは企業のユニークな協力体制が計画されており、これにより一層の進展が見込まれる。疾病との関連性の解明という目的も適切である。</p>		